

授業科目名 (英文名)	生徒指導論 (教職課程科目) (Theory of Guidance)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	3年次・前期
担当教員	竹内 和雄	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>生徒指導及び進路指導・キャリア教育を学ぶ上で、生徒指導及び進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解することは重要である。本講義では、生徒指導及び進路指導・キャリア教育の基礎に対する理解を深めることを目的とし、学校における生徒指導及び進路指導・キャリア教育の概念やそれを取り巻く課題について論考する。</p> <p>本講義の到達目標は1)生徒指導の意義や原理を理解する、2)すべての生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解する、3)生徒の抱える主な生徒指導上の課題と様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との構内外の連携も含めた対応の在り方を理解する、4)進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解する、5)すべての生徒を対象とした生徒指導・キャリア教育の考え方や指導の在り方を理解する、6)生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方や在り方を理解する、である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>上記の目的を達成するために、まず学校現場の諸問題について検討し、生徒指導の基本的な考え方について学ぶ。さらに「いじめ」「不登校」「ネット事情」等、今日の課題について実態と対応を学ぶことに通して、生徒理解をめざす。また進路指導について課題と現状と課題を考える。教職教員をゲストスピーカーとして招き、グループでのプレゼンテーションやロールプレイ等の実践的な学びを重視した授業を展開する予定である。</p> <p>授業計画</p> <p>1日目 1. オリエンテーション：本講義の目的と到達目標 2. 今日の学校現場の諸問題 3. 生徒指導の基本的な考え方 4. 一次支援、二次支援、三次支援 5. 特別支援教育と生徒指導</p> <p>2日目 6. いじめの実態とその対応 7. 不登校の実態とその対応 8. ネット事情とその対応 9. 非行・暴力の実態とその対応 10. ロールプレイで学ぶ生徒指導と解説</p> <p>3日目 11. 進路指導の現状 12. 進路指導の課題 13. 進路指導とキャリア教育 14. ロールプレイで学ぶ進路指導と解説 15. まとめ：生徒指導・進路指導の今後のあり方の検討</p>		
テキスト	<p>竹内和雄著 「スマホやネットが苦手でも指導で迷わない！スマホ時代に対応する生徒指導・教育相談」(ほんの森出版)</p>		
参考文献	<p>授業中に紹介するので、積極的に読んでほしい。</p>		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準</p> <p>生徒指導及び進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解し、学校における生徒指導及び進路指導・キャリア教育の概念や課題について論考できる者に単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達度に記載する能力(知識・技能・思考力・判断力・表現力等)の到達度に応じて、SからCまで成績を与える</p> <p>成績評価の方法</p> <p>レポート・小テスト80%、試験20%を基準として、受講態度(積極的な質問、グループワークへの貢献度等)を含めて総合的に評価する。</p>		

履修上の注意・履修要件	<p>遠隔授業システムを使用するので、遠隔授業を受ける注意事項を理解しておくこと。</p> <p>当授業は履修者を教室定員の1/2未満に制限し、対面授業を行います。履修希望者が定員を超える場合は、ランダム抽選により履修者を決定します。なお、履修希望者が定員を若干名超える場合は、履修希望者全員の履修を認める場合もあります。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とすることがあり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p>
実践的教育	<p>学校現場における教員経験及び教育行政での勤務経験がある者が、その経験を活かして今日的な課題(いじめ問題、不登校等)への対応を指導する。</p>
備考	<p>・授業資料等について、掲示を行うことがあるので注意しておくこと。</p>